

LEDレンタル事業の証券化スキーム

LED照明機器等の開発・製造・販売を手掛ける(株)カネヒロデンシ(三原市久井町坂井原5805-1、竹田昭典社長)は、業界に先駆けてLEDレンタル事業の証券化スキームを構築した。

同社は平成15年の設立。オフィスや工場、マンション等向けの一般照明をはじめ、近年は教育機関や自治体向けのグラウンド照明、農場向け植物照明で納入実績をあげている。

品質を保証しながらも、初期費用不要で電気代や交換労働の大幅な削減を実現するとして、好評を得てきた。

構築した証券化スキームは、同社と出資者が共同事業体として有責任事業組合(LLP)を設立。レンタルユーザーからのレンタル料金の支払い先を共同事業体とし、同社は共同事業体にレンタル資産を譲渡。共同事業体が、ユーザーからのレンタル料金(配当)を得る仕組み。なお、レンタル期間終了後は無償で譲渡し、出資金を返済して共同事業体は解散する。

LEDのレンタル事業自体は珍しくはないが、



LEDのレンタル事業自体は珍しくはないが、

レンタル事業そのものを証券化する手法は前例が無いという。全国を営業エリアとする、専門メーカーならではの業界に先駆けたスキームといえそうだ。構築にあたっては、弁護士等関係士業と調整を重ねた。共同事業体の形態は、財産の帰属が総組合員の合有で、パススルー税制のLLPが最も適合すると判断した。

長年に亘って地方銀行に勤め、多くの金融商品に携わってきた経験を持つ竹田社長は「このスキームは、弊社のLEDレンタル事業を応援していただくパートナー契約という趣旨に他なりません」と話している。既に、建築設計・デザインの(株)ケーワン(福岡市南区)、ビル管理等のさんびるホールディングス(株)(島根県松江市)の2社とLLP

表紙

ひと 土岡 幸氏

(一社) 広島森林水源総合研究所代表理事。広島銀行勤務を経て同社を設立、都市と森をつなぐ「都市林業コーディネーター」として活動する。元銀行員の経験を生かし森林相続のアドバイザー等も行う。西区出身、47歳。

色紙 報徳

江戸時代の思想家、二宮尊徳が編み出した豊かに生きるための考え方です。すべての物事には「徳」(長所や潜在的な力)があることを意味します。草木にもそれぞれの「徳」があり、経営にも通じる考えです。

Pを設立するなど、順調なスタートを切った。問合せ電話0847-13216248。

とうかさんキャンペーン かずもとやが抽選会

(株)数本屋(中区堀川町5-1、加藤和行社長)はとうかさんまで、かずもとや呉服店で浴衣セット購入者を対象に、抽選

で豪華賞品が当たるキャンペーンを行っている。浴衣、帯、腰紐、下駄のセット(5500円)を購入すると、抽選でカーペットペア2組、中央通り商店街周辺の飲食店で使用できるグルメチケット等が当たる。購入者には、祭り当日に無料で浴衣の着付けをサービス(要予約)。問合せ電話247-5298。